



令和 7 年度 栃木県こどもモニター

第 2 回アンケート結果

(高校生～22 歳)

調査実施の概要

1. 栃木県こどもモニターってなに

栃木県は、こどもに関する施策を考えて実現するため、こどもや若者、保護者の意見やアイデアを継続的に集め、政策に取り入れることを目的として「栃木県こどもモニター」を募集します。

モニターのみなさんには、栃木県についてのアンケートから意見を収集し、これからの栃木県の施策やルール作りにつなげていきます。

もっと暮らしやすい栃木県になるように、いっしょに考えよう！

2. 第2回アンケート期間

令和7年8月25日（月曜日）から9月17日（水曜日）

3. アンケート方法

アンケート対象者にメールで回答URLを送付、WEBサイトを通じてアンケートに回答。

4. モニター数

182名

5. 第2回アンケート回答者数

112名

6. 第2回アンケート回答率

61.5%

※ 「その他」の自由記述回答については、こども家庭庁「こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン」に基づき、こども・若者にとって読みやすく伝わりやすいものとするため、内容を整理して掲載しています。

性別	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
男性	78	38	33.9%	48.7%
女性	102	74	66.1%	72.5%
その他	2	0	0.0%	0.0%
合計	182	112	-	61.5%

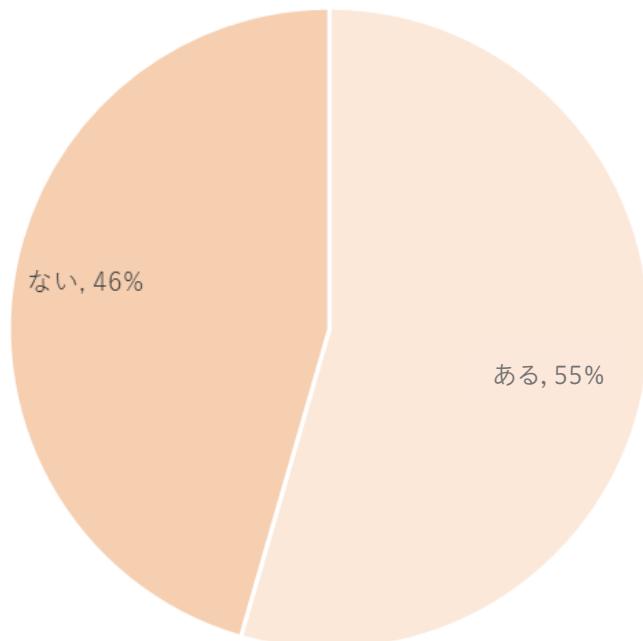
学年	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
高校 1 年生	28	21	18.8%	75.0%
高校 2 年生	27	18	16.1%	66.7%
高校 3 年生	16	13	11.6%	81.3%
16 才	3	1	0.9%	33.3%
17 才	2	2	1.8%	100.0%
18 才	17	13	11.6%	76.5%
19 才	23	15	13.4%	65.2%
20 才	32	14	12.5%	43.8%
21 才	25	12	10.7%	48.0%
22 才	9	3	2.7%	33.3%
合計	182	112	-	61.5%

- ※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出したものになります。そのため、合計が 100.0%にならないものがあります。
- ※ 各アンケート結果の数値は、見やすさを重視し割合は小数点以下を四捨五入して整数で表示しています。

テーマ 1

環境に関する意識について

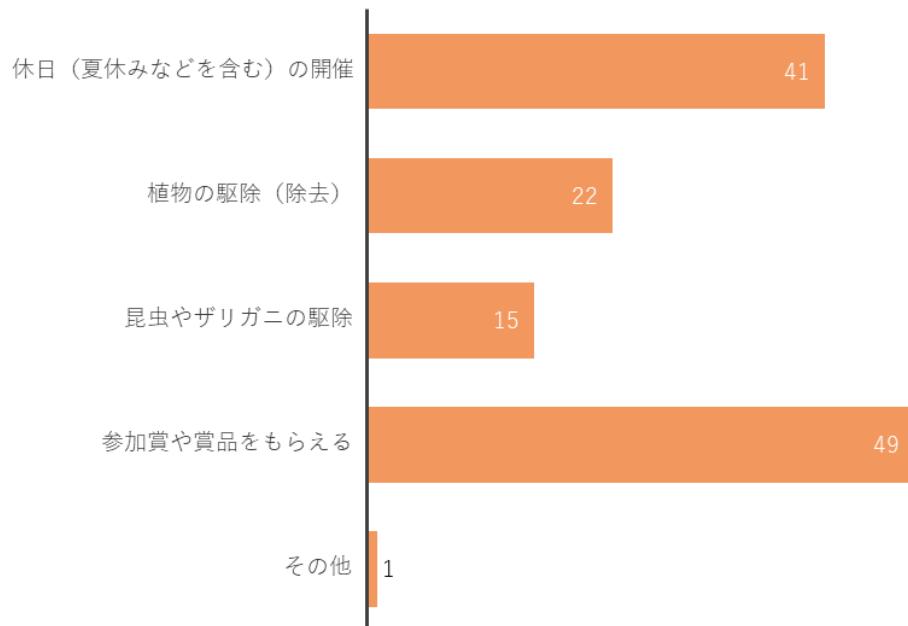
Q1.県内では外来生物による様々な被害が発生しており、県では県民の皆さんと協力しながら駆除活動を実施しています。このような外来生物の駆除活動に興味はありますか。



【調査結果の概要】

「興味がある」(55%)が「興味がない」(46%)をやや上回る結果となった。

Q1-1. 「Q1」で「駆除活動に興味がある」と答えた方に質問します。どんな駆除活動になら参加してみたいですか。【いくつでも選んでください】



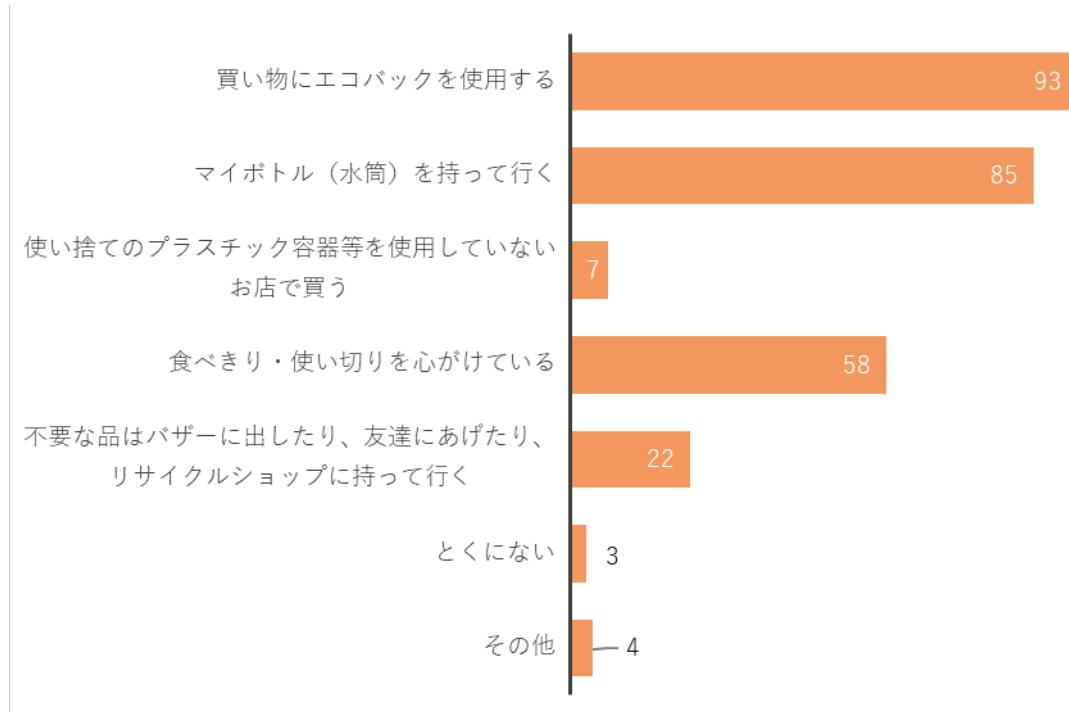
【調査結果の概要】

「参加賞や賞品をもらえる」（49件）が最も多く、以下「休日（夏休みなどを含む）の開催」（41件）、「植物の駆除（除去）」（22件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 簡単なら参加したい。

Q2.ごみ削減に向けて、あなたがしている取組(してみたい取組)は何ですか。【いくつでも選んでください】



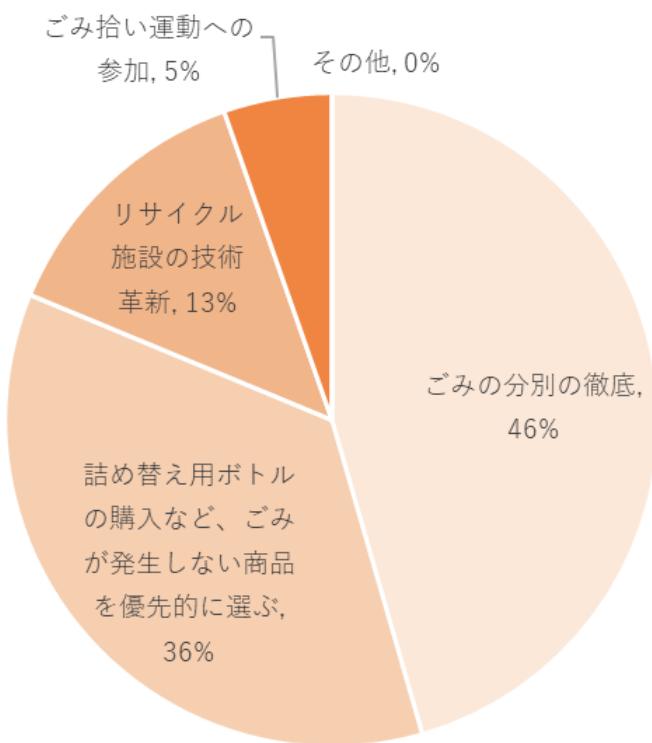
【調査結果の概要】

「買い物にエコバックを使用する」（93 件）が最も多く、「マイボトル（水筒）を持っていく」（85 件）、「食べきり・使い切りを心がけている」（58 件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ ごみの分別をきちんと行う。
- ・ 食品トレー や ペットボトルを回収 BOX に入れている
- ・ 着なくなった服は、オータニのリユース BOX に入れています
- ・ スーパーのリサイクル回収ボックスの利用

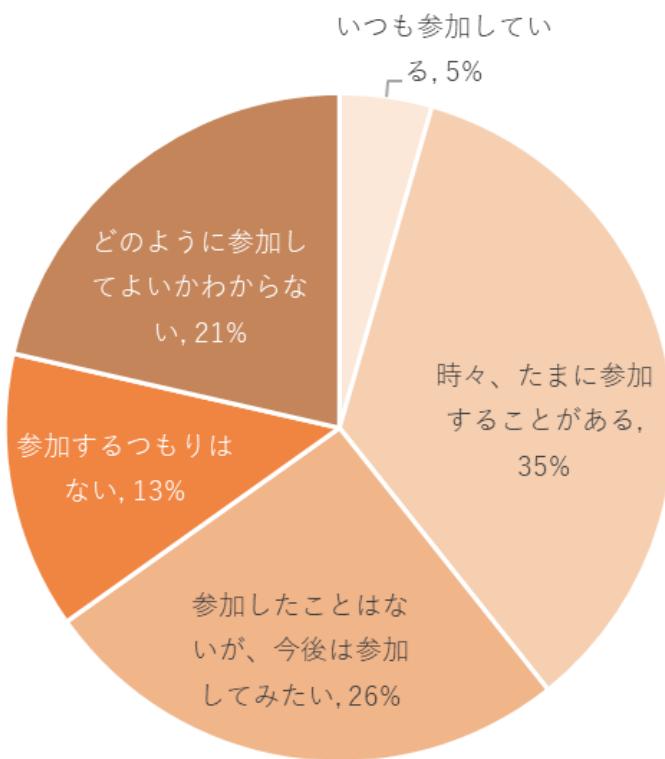
Q3.ごみ削減に向けて、あなたが特に重要と考える取組は何ですか。



【調査結果の概要】

「ごみの分別の徹底」（46%）が最も多く、以下「詰め替え用のボトルの購入など、ごみが発生しない商品を優先的に選ぶ」（36%）、「リサイクル施設の技術革新」（13%）と続いている。

Q4.あなたは地域の清掃や環境美化活動に参加していますか。



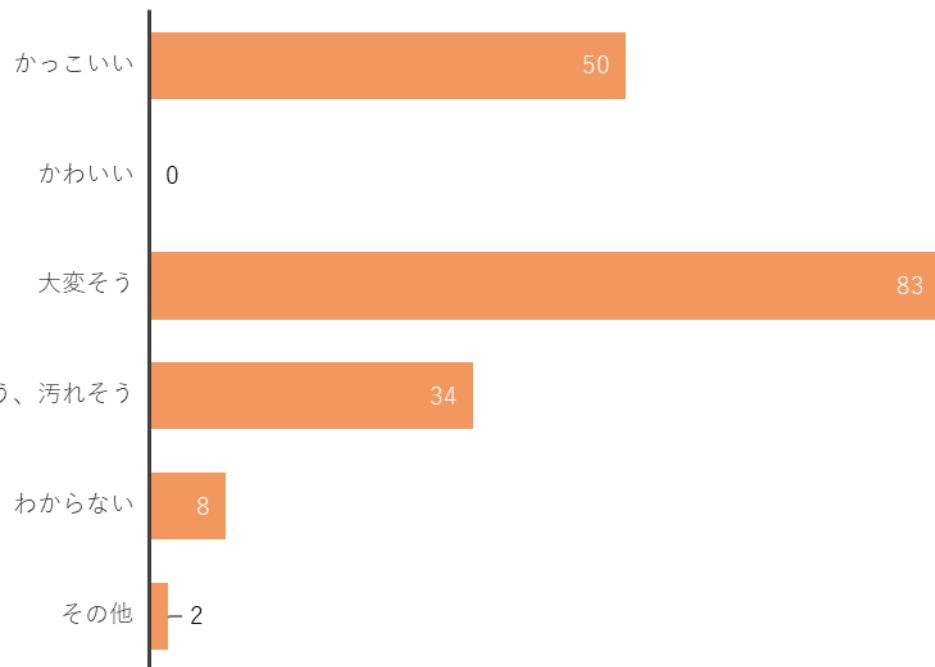
【調査結果の概要】

「時々、たまに参加することがある」（35%）が最も多く、以下「参加したことはないが、今後は参加してみたい」（26%）、「どのように参加してよいかわからない」（21%）と続いている。

テーマ 2

栃木の産業や製造業の仕事について

Q5.地元の建設業（道路や河川の整備、家やビルの建築、など）や、そこで働く人の姿にどんなイメージを持っていますか。【いくつでも選んでください】



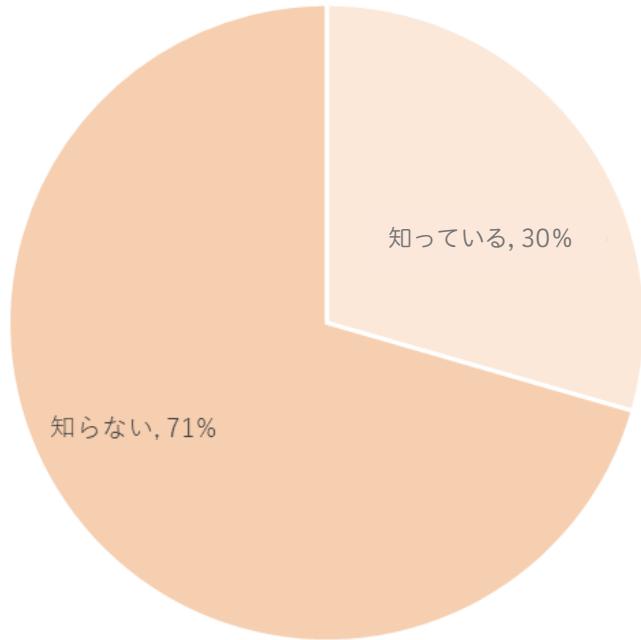
【調査結果の概要】

「大変そう」（83 件）が最も多く、以下「かっこいい」（50 件）、「危なそう、汚れそう」（34 件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 何とも思わない

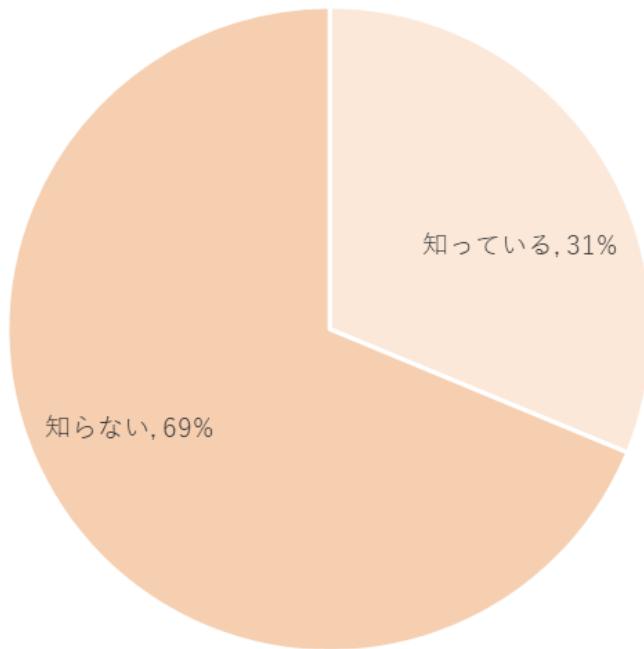
Q6.現在、地元の建設業では、週休2日がふつうになっていたり、デジタル技術で測量、設計や施工に取り組んでいるのを知っていますか。



【調査結果の概要】

「知らない」（71%）が、「知っている」（30%）を大きく上回る結果となった。

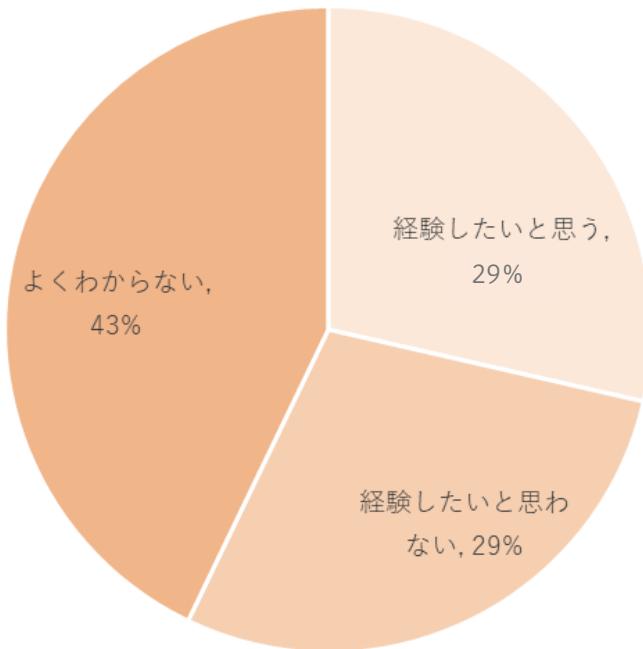
Q7.平成 27 年の台風や、令和元年の豪雨の際、初期の復旧に地元の建設業が大活躍したのを知っていますか。



【調査結果の概要】

「知らない」（69%）が、「知っている」（31%）を大きく上回る結果となった。

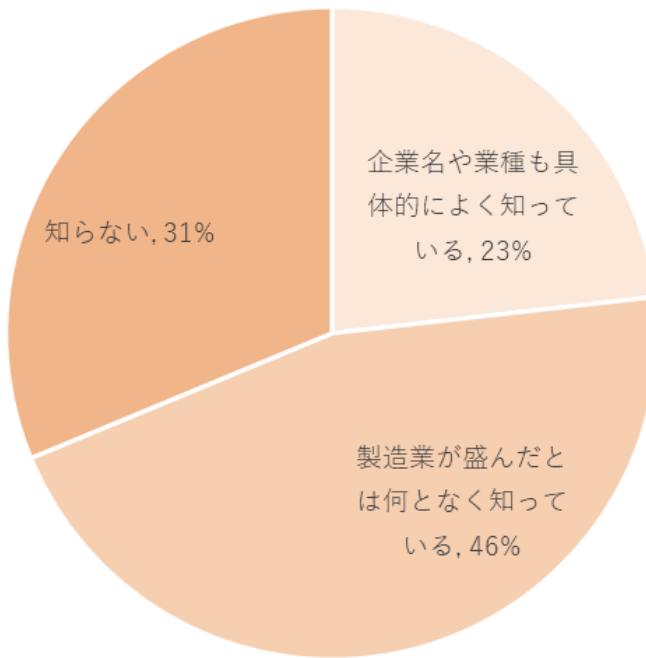
Q8.建設業は壮大なものづくりです。「地図に残る仕事」をやり遂げる経験をしたいと思いませんか。



【調査結果の概要】

「よくわからない」（43%）が最も多く、以下「経験したいと思わない」（29%）、「経験したいと思う」（29%）と続いている。

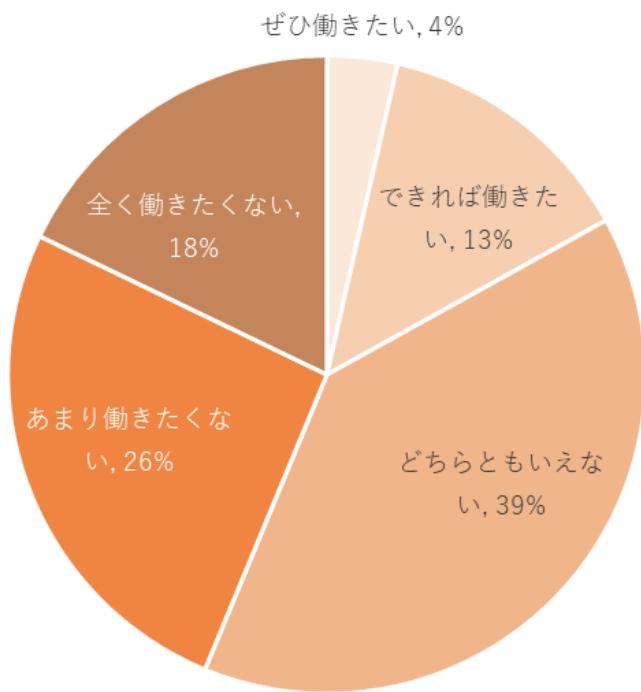
Q9.栃木県が自動車や航空宇宙、医療福祉機器などで、著名な企業や高い技術力をもつ企業の工場が立地するなど、製造業が盛んな県であることを知っていますか。



【調査結果の概要】

「製造業が盛んだとは何となく知っている」（46%）が最も多く、以下「知らない」（31%）、「企業名や業種も具体的によく知っている」（23%）と続いている。

Q10.将来、栃木県内の製造業(開発・設計含む)で働きたいと思いますか。



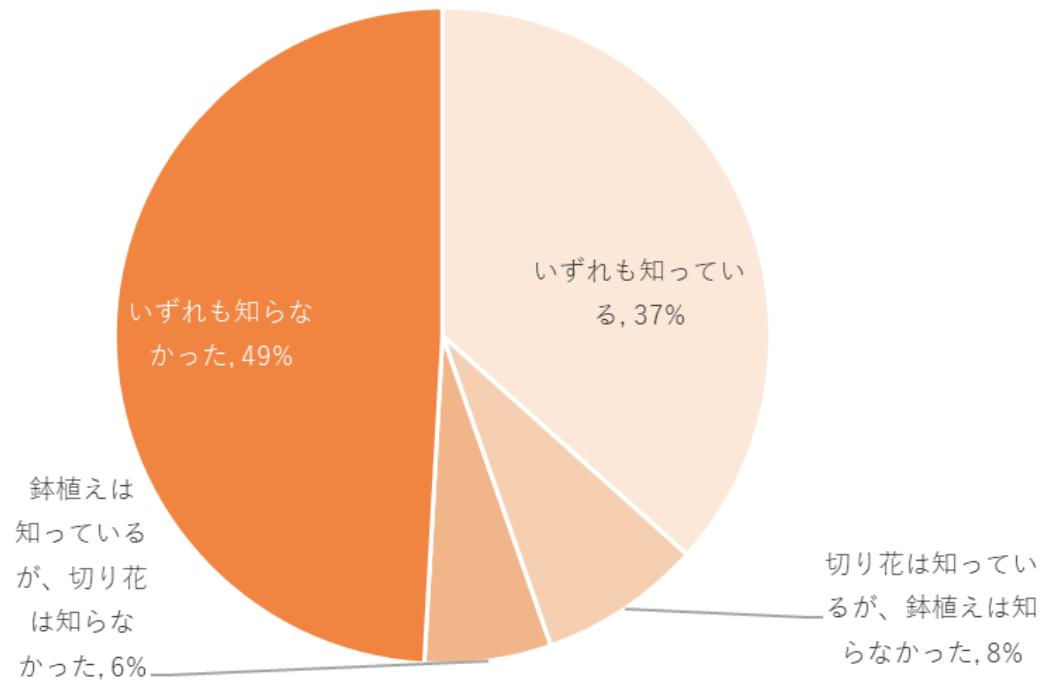
【調査結果の概要】

「どちらともいえない」 (39%) が最も多く、以下「あまり働きたくない」 (26%) 、「全く働きたくない」 (18%) と続いている。

テーマ 3

「花」の購入について

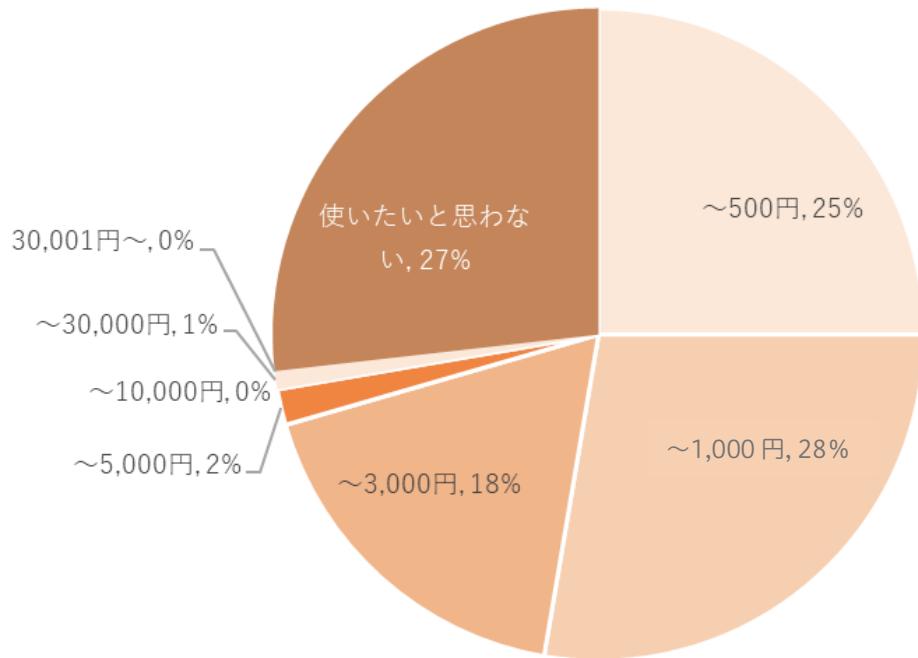
Q11.切り花は100円程度から、鉢植えは1,000円程度から購入できることを知っていますか。



【調査結果の概要】

「いざれも知らなかった」（49%）が最も多く、以下「いざれも知っている」（37%）、「切り花は知っているが、鉢植えは知らなかった」（8%）と続いている。

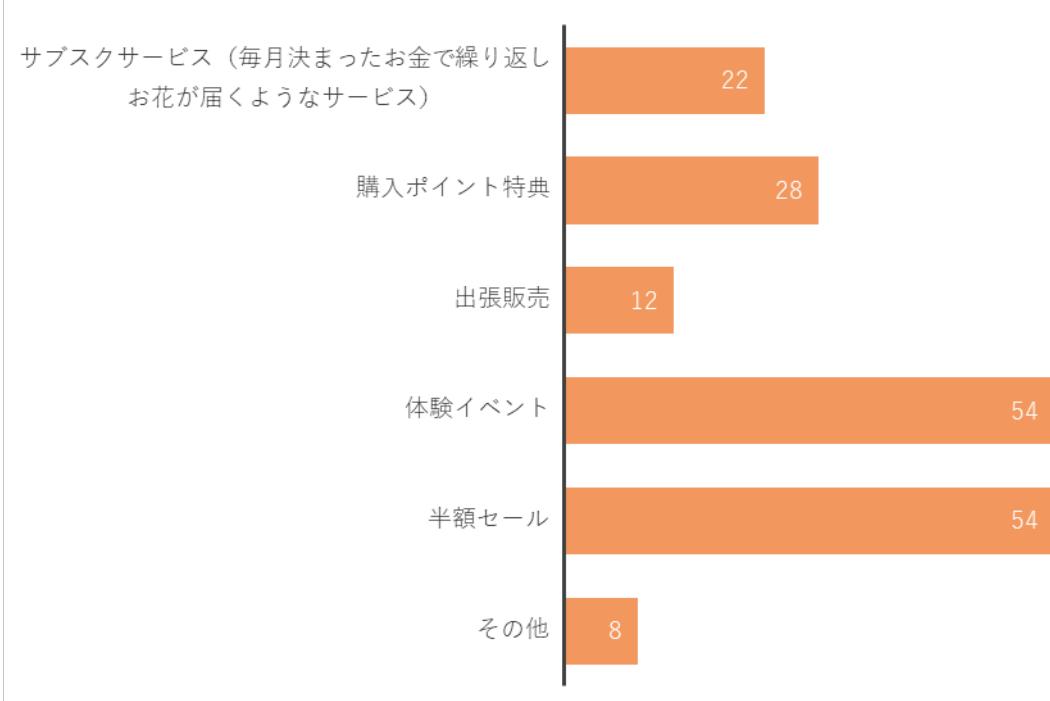
Q12.自分やご自宅用に花を購入する場合、月にいくらまでなら使ってもいいと思いますか。上記の金額を参考に購入頻度や個数を想定してみてください。



【調査結果の概要】

「～1,000円」（28%）、「使いたいと思わない」（27%）が同数で最も多く、以下「～500円」（25%）、「～3,000円」（18%）と続いている。

Q13.次のサービスのうち、自分やご自宅用に花を購入するきっかけになると思うものを選んでください。【いくつでも選んでください】



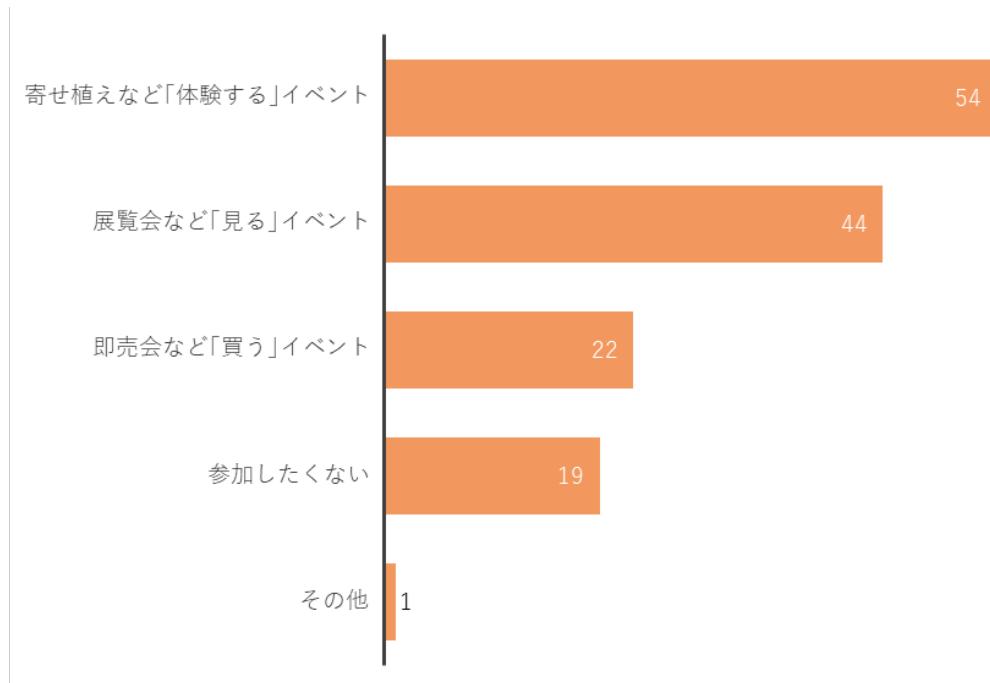
【調査結果の概要】

「体験イベント」（54件）と、「半額セール」（54件）が同数で最も多く、以下「購入ポイント特典」（28件）、「サブスクサービス（毎月決まったお金で繰り返しお花が届くようなサービス）」（22件）と続いている。

【その他の自由記述】

- 誕生日等の記念日用のプレゼント
- 行事でしか花を買わないから分からぬ
- 好きなアーティストとのコラボ
- お盆や墓参りなどのシーズンにお供え物として

Q14.次のような花に関するイベントのうち、あなたが参加したいと思うものを選んでください。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「寄せ植えなど『体験する』イベント」（54件）が最も多く、以下「展覧会など『見る』イベント」（44件）、「即売会など『買う』イベント」（22件）と続いている。

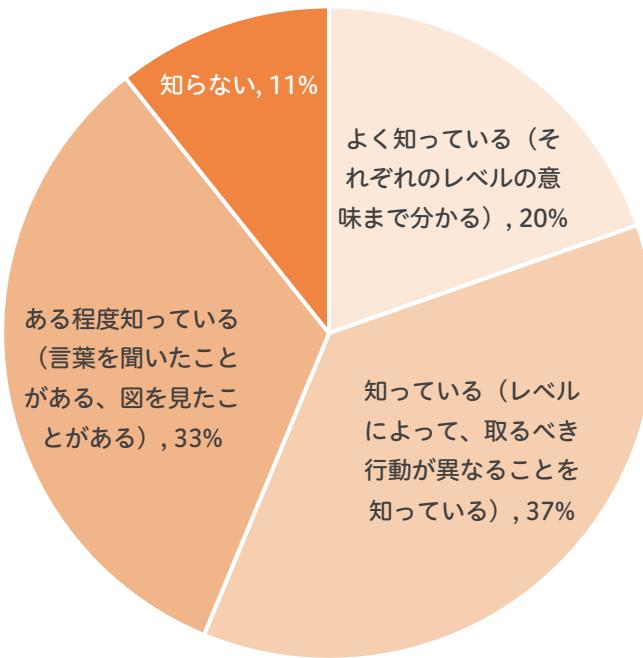
【その他の自由記述】

- ・ 地域に根ざした花の紹介。花のフォトコンテスト。
- ・ 好きなアーティストとのコラボ

テーマ 4

防災意識について

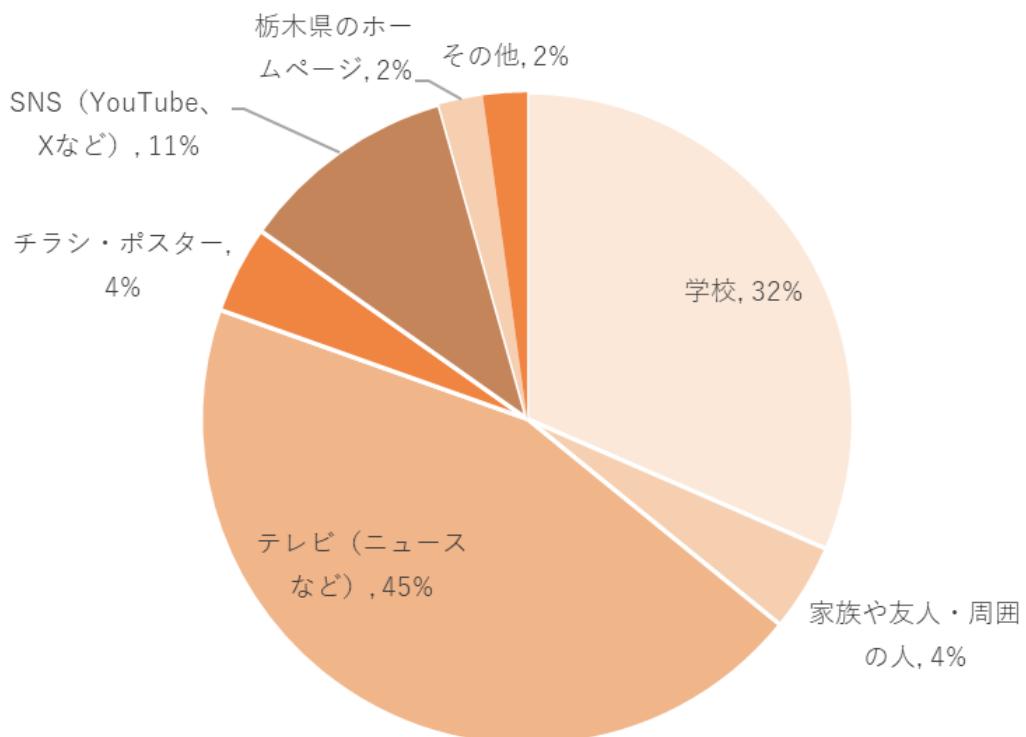
Q15.あなたは、大雨や土砂災害において危険な場所から避難するタイミングの目安である「5段階の警戒レベル」を知っていますか。



【調査結果の概要】

「知っている」（37%）が最も多く、以下「ある程度知っている（言葉を聞いたことがある、図を見たことがある）」（33%）、「よく知っている（それぞれのレベルの意味まで分かる）」（20%）と続いている。

Q16. 「Q15」で「知っている、聞いたり見たことがある」と答えた方に質問します。「5段階の警戒レベル」を何を通して知りましたか。



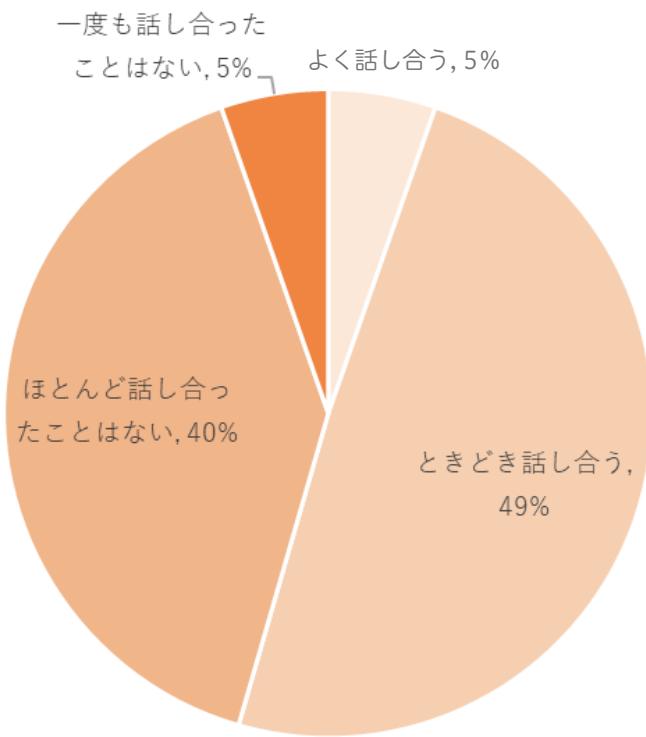
【調査結果の概要】

「テレビ（ニュースなど）」（45%）が最も多く、以下「学校」（32%）、「SNS(YouTube、Xなど)」（11%）と続いている。

【その他の自由記述】

- 自身の経験
- 2019年の台風19号によって被災したその時

Q17.あなたは地震や大雨などの災害に対する備えについて、家族と話し合いますか。



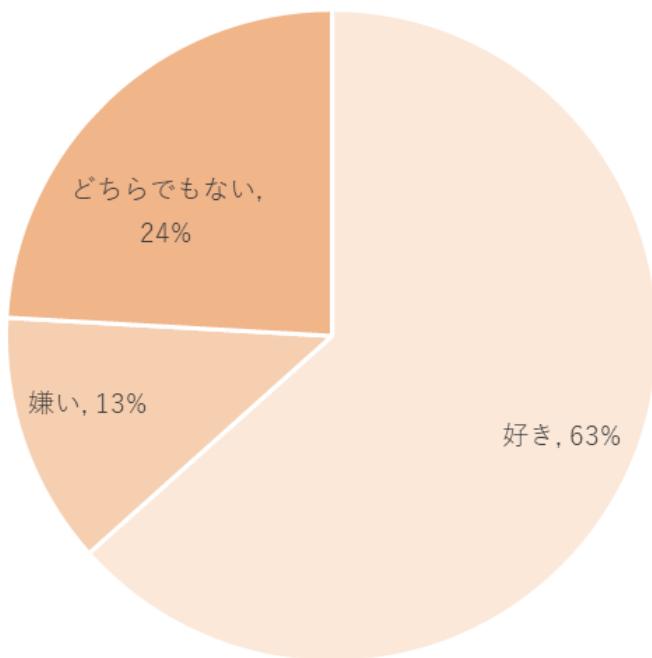
【調査結果の概要】

「ときどき話し合う」 (49%) が最も多く、以下「ほとんど話し合ったことはない」 (40%) 、「よく話し合う」 (5%) と続いている。

テーマ 5

運動をすることについて

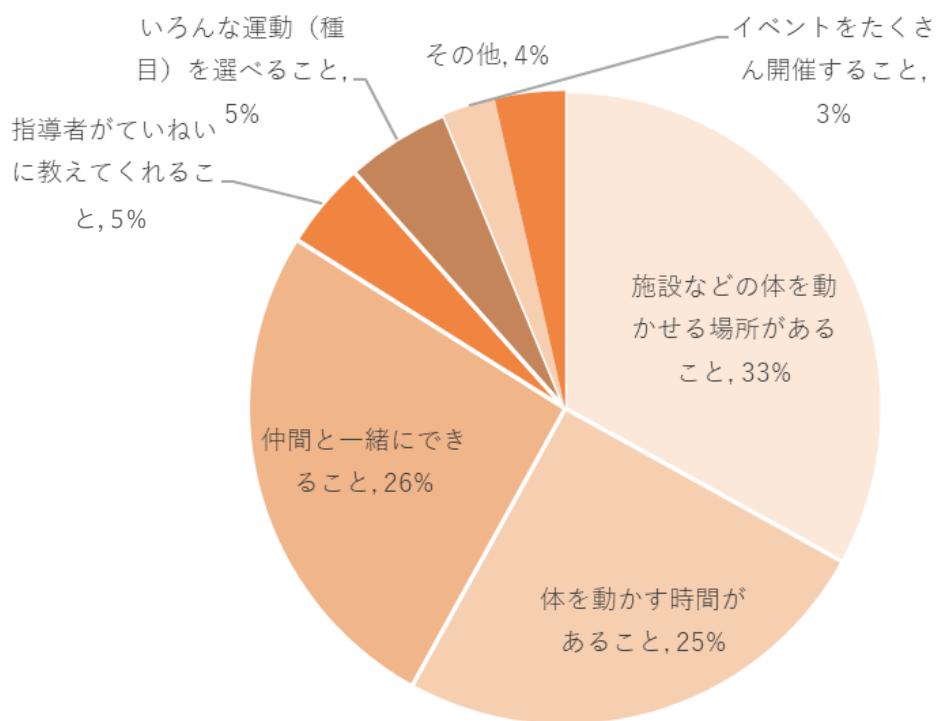
Q18.あなたは運動やスポーツなど、体を動かすことが好きですか。



【調査結果の概要】

「好き」（63%）が最も多く、以下「どちらでもない」（24%）、「嫌い」（13%）と続いている。

Q19.運動やスポーツなど、体を動かす活動をもっと楽しむために、どんなことが必要だと思いますか。



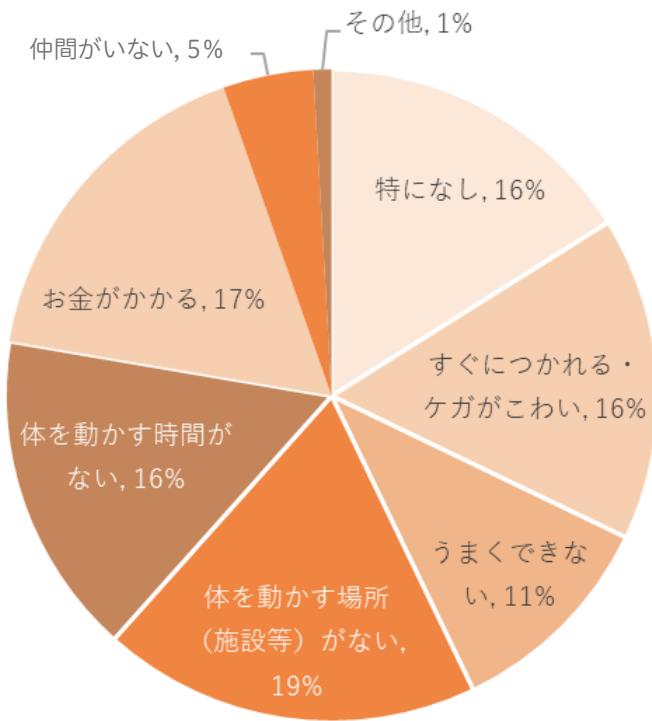
【調査結果の概要】

「施設などの体を動かせる場所があること」（33%）が最も多く、以下「仲間と一緒にできること」（26%）、「体を動かす時間がされること」（25%）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 勝ち負けに拘らない
- ・ 楽しめること
- ・ 公園など本格的ではなくても気軽に遊べる場所が複数あること
- ・ 健康的で、怪我をしにくい身体がある事

Q20.運動やスポーツなど、体を動かす活動をする際に困っていることは何ですか。



【調査結果の概要】

「体を動かす場所（施設等）がない」（19%）が最も多い、次いで「お金がかかる」（17%）となっており、続いて「すぐにつかれる・ケガがこわい」（16%）、「体を動かす時間がない」（16%）、「特になし」（16%）が同数となった。

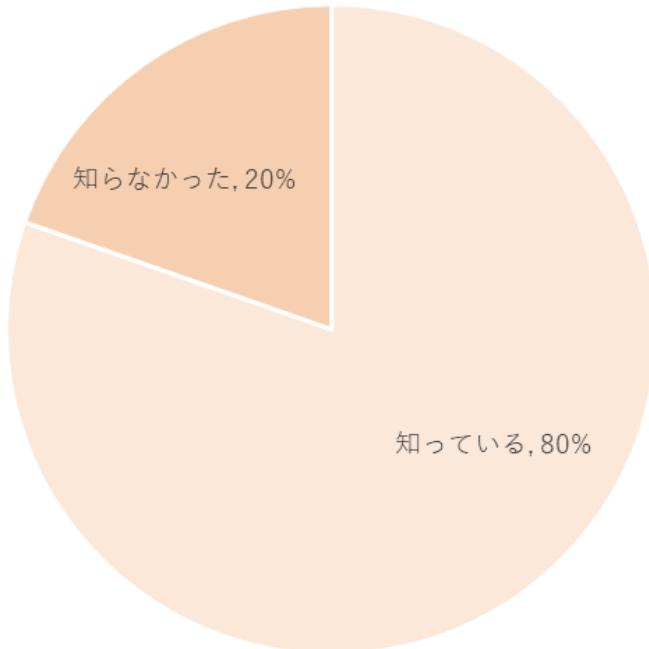
【その他の自由記述】

- 教えてくれる人がいない

テーマ 6

自転車利用時の保険加入について

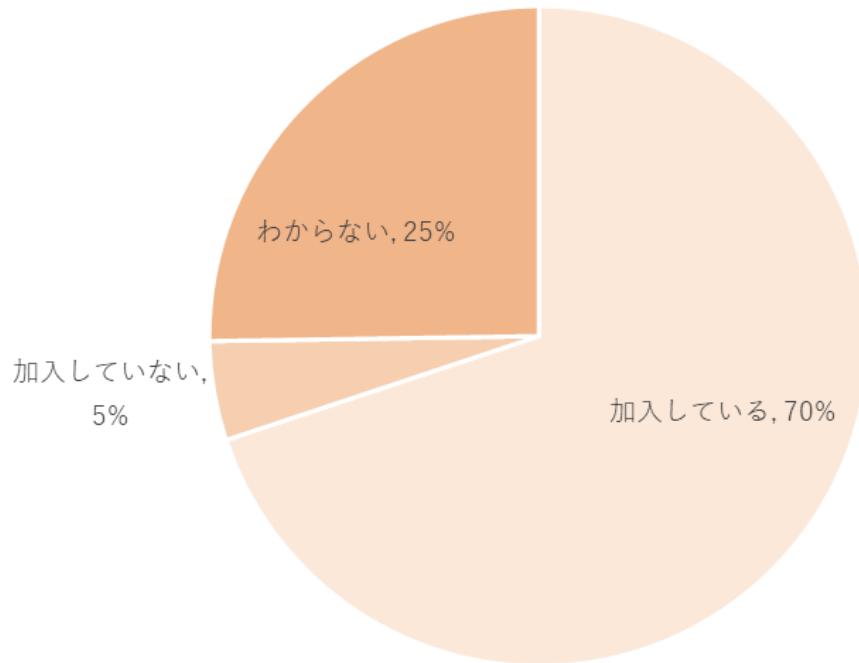
Q21.栃木県の条例の規定により、自転車を利用する人は、自転車損害賠償責任保険等への加入義務があることを知っていますか。※自転車損害賠償責任保険等とは、自転車の事故で相手にケガをさせてしまった場合の補償に関する保険や共済などのことです。



【調査結果の概要】

「知っている」（80%）が、「知らなかった」（20%）を大きく上回る結果となった。

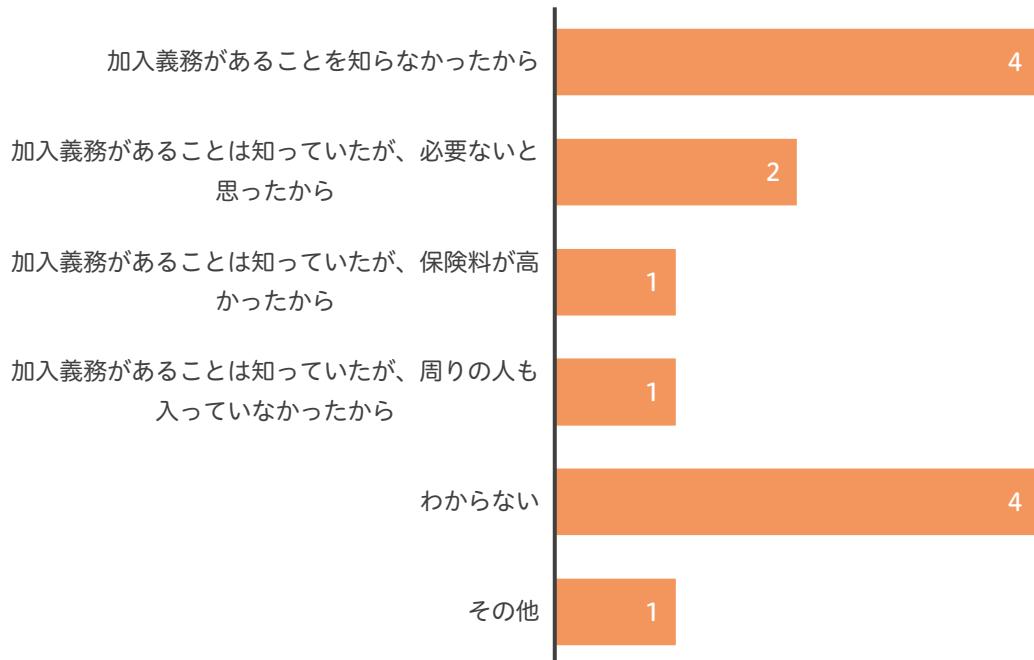
Q22.自転車を利用している方に質問です。あなたは、自転車損害賠償責任保険等に加入していますか。



【調査結果の概要】

「加入している」（70%）が最も多く、以下「わからない」（25%）、「加入していない」（5%）という結果となった。

Q23. 「Q22」で「加入していない」と回答した方にお聞きします。自転車損害賠償責任保険等に加入していない理由は何ですか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「加入義務があることを知らなかったから」（4件）、「わからない」（4件）が同数で並び、以下、「加入義務があることは知っていたが、必要ないと思ったから」（2件）、「加入義務があることは知っていたが、保険料が高かったから」（1件）、「加入義務があることは知っていたが、周りの人も入っていなかったから」（1件）と続いている。

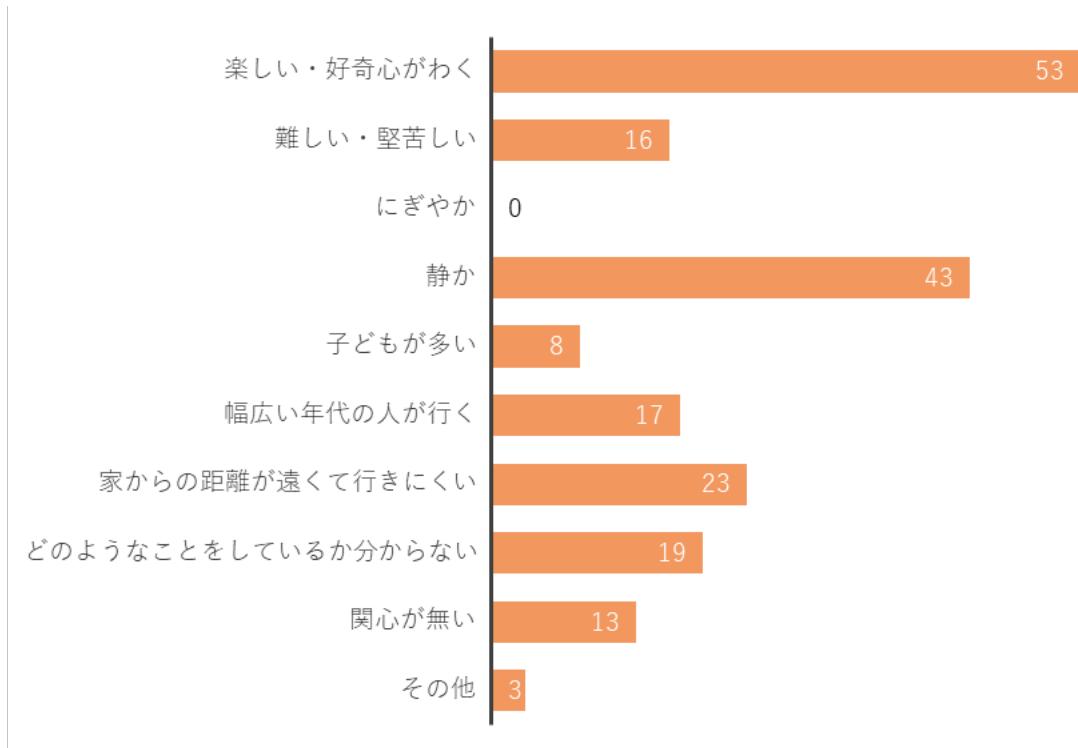
【その他の自由記述】

- ・ 自転車に乗る機会がない為

テーマ 7

博物館、美術館について

Q24.あなたは栃木県立博物館について、どのようなイメージがありますか。【いくつでも選んでください】



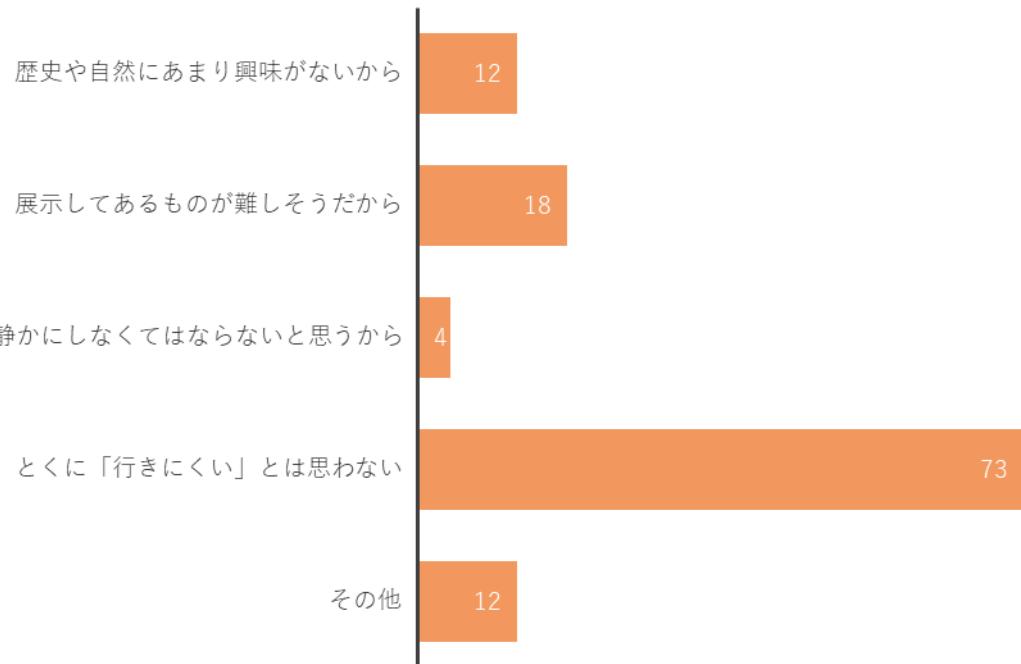
【調査結果の概要】

「楽しい・好奇心がわく」(53件)が最も多く、以下、「静か」(43件)、「家からの距離が遠くて行きにくい」(23件)と続いている。

【その他の自由記述】

- そもそも博物館がある事を知らなかった。
- 博物館の入口近くの駐車場が狭く、他の駐車場は遠い。

Q25.栃木県立博物館に「行きにくいな」と思うことはありますか。あれば、理由をおしえてください。【いくつでも選んでください】



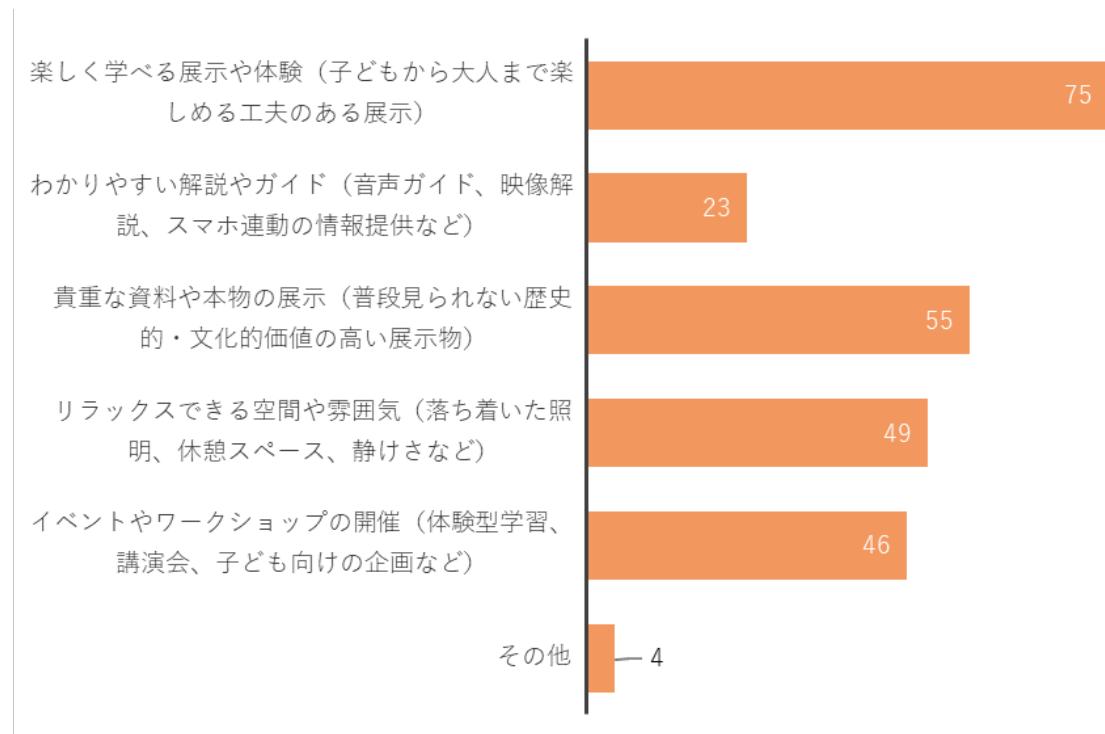
【調査結果の概要】

「とくに『行きにくい』とは思わない」(73件)が最も多く、以下「展示してあるものが難しそうだから」(18件)、「歴史や自然にあまり興味がないから」(12件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 興味のある展示があまりない。
- ・ 何を展示しているのか知らない。
- ・ そもそも行く機会がないから、「行きにくい」かどうかが分からない。
- ・ 家から遠く、自分一人で行ける距離はない。
- ・ 幹線道路からの出入りが面倒。
- ・ 忙しくて行く時間がない。
- ・ きょうだいが歴史や自然にあまり興味がないため家族では行きづらい。

Q26.栃木県立博物館にどのようなことを期待しますか。【いくつでも選んでください】



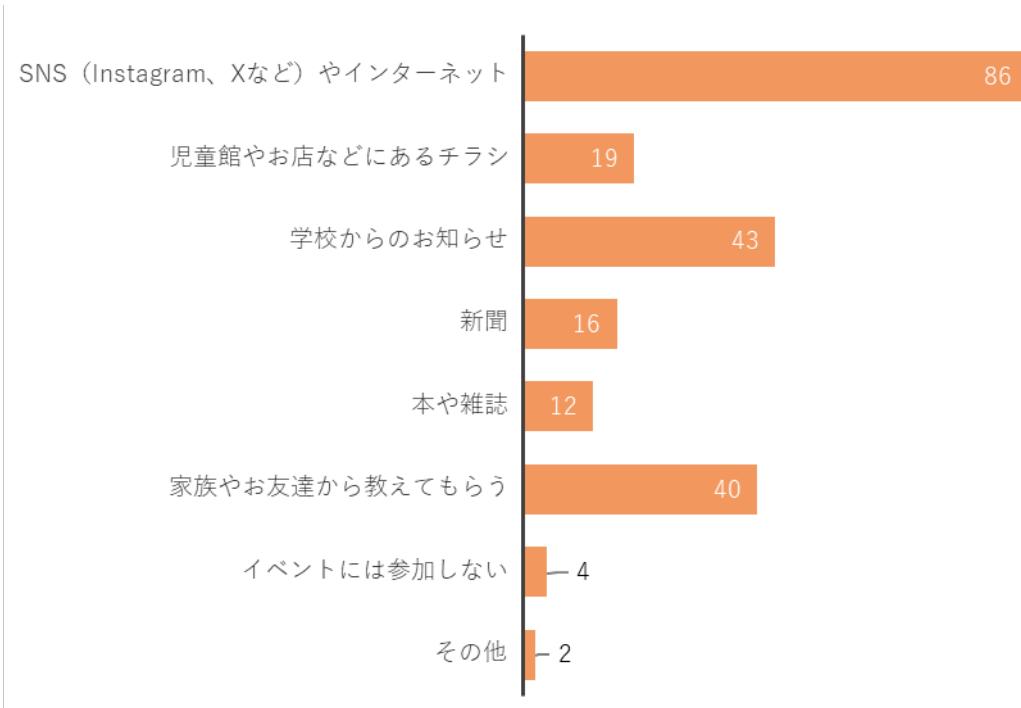
【調査結果の概要】

「楽しく学べる展示や体験（子どもから大人まで楽しめる工夫のある展示）」（75 件）が最も多く、以下、「貴重な資料や本物の展示（普段見られない歴史的・文化的価値の高い展示物）」（55 件）、「リラックスできる空間や雰囲気（落ち着いた照明、休憩スペース、静けさなど）」（49 件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ キャラクターとのコラボ。
- ・ 出張展示や出前授業。
- ・ 多言語による展示の解説。
- ・ ツアー型の体験授業。
- ・ エジプト展や刀展など、定期的なイベント。

Q27.あなたが参加するイベントの情報収集は、何を通して行っていますか。【いくつでも選んでください】



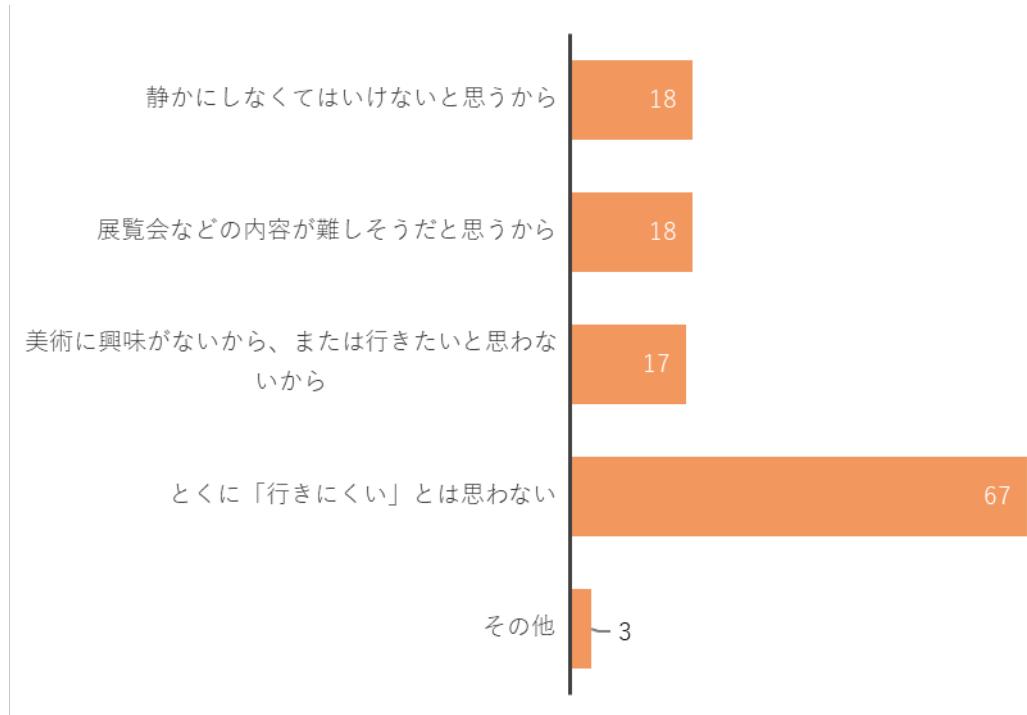
【調査結果の概要】

「SNS(Instagram、Xなど)やインターネット」(86件)が最も多く、以下「学校からのお知らせ」(43件)、「家族やお友達から教えてもらう」(40件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 県のホームページ。
- ・ 県民だより。
- ・ 町のホームページ。
- ・ 町の広報誌。
- ・ 学校の部活動を通して。

Q28.美術館に「行きにくいな」と思うことはありますか。あれば、理由をおしえてください。【いくつでも選んでください】



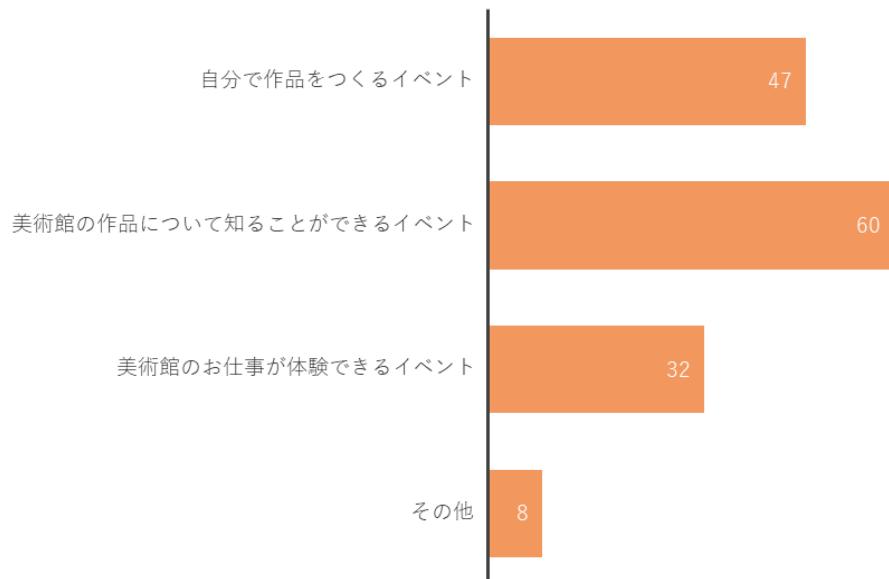
【調査結果の概要】

『とくに「行きにくい」とは思わない』(67件)が最も多く、以下「静かにしなくてはいけないと思うから」(18件)、「展示会などの内容が難しそうだと思うから」(18件)が同数という結果となった。

【その他の自由記述】

- ・ 美術に対する学が無い
- ・ そもそも行く機会がないから、「行きにくい」かどうかが分からぬ。
- ・ 自分一人で行ける距離にないから。

Q29.栃木県立美術館では今年、「動くゴッホ展」や「絵本のひみつ展」など、親しみやすい展示も多く開催します。今後、美術館で開催してほしいイベントや企画展などを教えてください。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「美術館の作品について知ることができるイベント」(60件)が最も多く、以下「自分で作品をつくるイベント」(47件)、「美術館のお仕事が体験できるイベント」(32件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ アルフォンス・ミュシャ
- ・ 以前宇都宮美術館やっていたビゴー展をまたやってほしい。コロナ禍で行けなかった。風刺画や教科書で見た事あるような絵画は行くキッカケになると思う。
- ・ 本物の有名な絵なら見に行く
- ・ 栃木県内の美術館を回るツアー。移動展示。
- ・ 興味がない
- ・ 動物や植物などの種類ごとに特化したイベント
- ・ 絵を鑑賞して、考察や感想を話し合い様々な方と交流できるイベント
- ・ 国立博物館で展示するような内容を地元でやって欲しい